

DÉJÀ VU

時をさまよう、一幕の夢物語



デジャヴ

監督 ■ ダニエル・シュミット

出演 ■ ミシェル・ヴォワタ / クリスチーヌ・ボワゾン

ウィットリオ・メゾジオル / キャロル・ブーケ

原案・脚本 ■ マルタン・シュテル / ダニエル・シュミット

撮影 ■ レナート・ベルタ 美術 ■ ラウル・ヒメネス

編集 ■ ダニエラ・ロデレル

音楽 ■ ビノ・ドナジオ 製作 ■ テレス・シェレル

1997年 / スイス / カラー / ビスタサイズ
104分36秒 / 配給 ■ 株式会社 シネマゾン

解説▼「ラ・パロマ」(74年)、「ヘカテ」(82年)で日本に熱狂的なファンを生んだスイス出身の「映画魔術師」ダニエル・シュミット、待望の新作劇映画である。

1987年カンヌ映画祭へある視点の出品作。上映されるや「シュミット芸術の頂点」と讃辞が相ついで力作。シュミットの生まれ故郷スイス・グリゾン地方で英雄として伝説化しながら謎の死が解明されていない17世紀の革命家ヨルグ・イエナチュ、彼の謎にとりつかれた奇怪な老人類学者と若いジャーナリスト・スプレシャーを主人公に、現代と17世紀が巧みにタイムスリップし「時」の迷宮を形づく

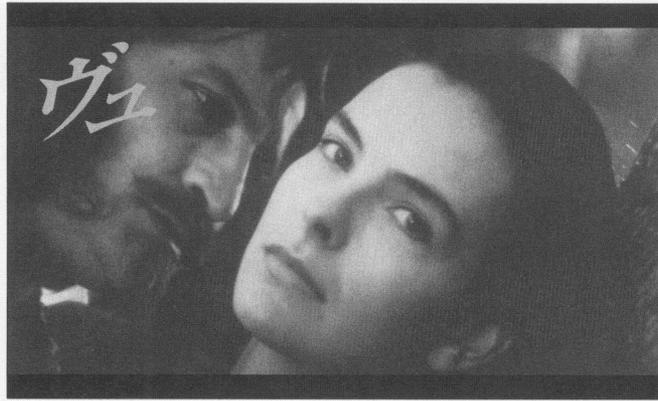
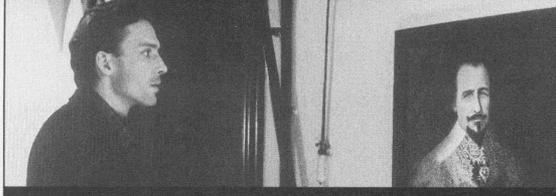
るシュミット流「幻想映画」。

「時」によって隔てられたはずの二つの時代、二つの現実、二人の主人公が幻想のなかで美しく交差する。いつもながら心憎いほどのエレガンスで我々を酔わせてくれるシュミット演出だ。

ロケ撮影の映像美に定評ある長年のコンビ名手レナート・ベルタの見事なカメラが捉える山岳地方の自然、アンティーク感覚のホテルや列車、そして車窓からの光景としてたびたび起こるヘンジャ・ヴェ、過去の幻影と謝肉祭の仮装、魅惑的な切り返し。鏡の多用……すべてがめまいを呼び覚ますようなシュミットの映画魔術は「ラ・パロマ」「ヘカテ」からさらに進んだ新境地として絶賛されている。「演出家のポエジーが出演者の選択にも現われている」と評されたキャストは1957年生まれの新入。美貌で瘦せて神経質で情熱的なのは「何かに憑かれた男」というシュミットの主人公にぴったり。恋人ニナを演じる「ある女の存在証明」のクリスチーナ・ボワツソンは84年ロミー・シュナイダー賞受賞の実力派。頬骨の出たその顔はイングリット・カーフェンやローレン・ハットンとも通じる。

彼女と並ぶヒロインが17世紀の名家の娘を演じるキャロル・ブーケ。「現代の映画界で最も神秘的」といわれる特異な美女である。イエナチュ役のヴィットリオ・メソジオルノは「傷ついた男」「溝の中の月」「フェグス」でおなじみ。ジャン・ブイエズの老学者とパゾリーニ女優ラウラ・ベッティの謎の鍵を握る老嬢は名演もの。「山の焚火」の監督フレディ・M・ムーラーも顔を見せている。

音楽のピノ・ドナジオは「赤い影」「キャリー」「殺しのドレス」「ミッドナイトクロス」「ピラニア」などサスペンスもののベテラン。美術のラウル・ヒメネス(運転手役で出演)と録音のリュック・イエールはシュミットのよき協力者である。



デジャヴ

DÉJÀ VU

キャスト
 クリストフ・スプレシャー◆ミシェル・ヴォワタ
 ニナ◆クリスチーナ・ボワツソン
 ヨルグ・イエナチュ◆ヴィットリオ・メソジオルノ
 トブラー博士◆ジャン・ブイエズ
 フォン・ブランタ嬢◆ラウラ・ベッティ
 ルクレツィア・フォン・ブランタ◆キャロル・ブーケ
 タクシー運転手◆ラウル・ヒメネス
 司祭◆ローラン・ベルタン
 ニュース映画の記録係◆フレディ・M・ムーラー

ストーリー▼「17世紀のスイス、グリゾン州独立の最大のヒーローであるイエナチュは、宿敵ボンベウス・フォン・プラランタを殺し、権力を手中にした。しかし数年後には、謎の人物。によって、イエナチュもまた殺された。ジャーナリスト、クリストフ・スプレシャーにとつてこのような史伝にはあまり興味はなかったが、彼はイエナチュの墓の発掘を指揮した人類学者トブラーとのインタビュに依頼を引き受けてしまう。トブラーは一風変わった人で、イエナチュの殺人事件の歴史上の謎の究明に取りつかれている。彼の活動とイエナチュの墓から出てきた手懸りとなる品々が、スプレシャーに興味を抱かせはじめた。彼はイエナチュの墓に赴き、続いてボンベウス・フォン・プラランタの暗殺のあった城に、未裔の年とつた未婚のフォン・プラランタ嬢を訪れる。彼女は、イエナチュが祖先の暗殺に用い、自らも謎の人物によって殺されたという斧を大切に保管していた。城を訪れた帰り道、スプレシャーは不思議にも時を超えてイエナチュに会う。その現象に納得のゆく説明がつかぬまま、スプレシャーは精神的混乱に悩まされていく。

彼は、なぜこのような不思議な体験をするのかを究明しようともう一度城へと向かう。しかし、答えを見つけない代わりに、彼はボンベウス・フォン・プラランタ殺害の時空間へ再び迷い込みその様子を目撃。さらには自身も共犯者として異次元に関与してしまふ。殺害のあと、イエナチュは権力とともにフォン・プラランタの美しい娘も手に入れる。

城を離れたスプレシャーの混乱の度はますます深まるが、恋人ニナの支えを得て彼は三度ニナと共に事件の現場へと戻っていく。

いま町は謝肉祭を迎えた夜だった。人々はとりどりの仮面をつけてカーニバルに興じている。繰り返して彼がめにしていく光景は幻覚なのか、それとも過去のなか、現在なのか。スプレシャーだけが17世紀のイエナチュの世界をさ迷う。そこでも謝肉祭に人々が沸いている。スプレシャーは謎めいた美しいプラランタの娘を認め、娘の不思議な瞳に誘われるまま酒場の奥へと導かれてゆく。多勢の人々が祭に酔い騒ぐ中、スプレシャーに娘の瞳が指し示したのは無防備にくつろぐイエナチュの後姿だった。



5月下旬よりロードショー 特別鑑賞券1,200円発売中

シネセゾン渋谷 千ネカ錦糸町 (当日一般1,500円・学生1,300円)

渋谷道玄坂 サ・プライム6階☎03(770)1721 錦糸町駅南口 西武7階☎03(631)3121

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求めください。グループ鑑賞のお申し込みは(株)メイジャー☎03(541)2508まで。

●自由席定員制・入替制